



3月27日  
JTSU-E  
大地申  
第3号

## 烏山線全線開業100周年、利便性向上と 利用促進に向けた申し入れ 交渉開催 その1

大宮支社

費用対効果を見込めないなどと発言し、利便性向上や利用促進に対して、  
後ろ向きな回答で認識の一致がはかれず！

1. 関係自治体等とのこれまでの利用促進の取り組みの成果を明らかにすると共に、全線開業 100 周年に向けた取り組みについて、いま現在検討している案を示すこと。

[回答] 臨時列車の運行や観光情報の発信等の施策を実施してきたところである。なお、開業 100 周年の取り組みについては現在、検討しているところである。

組合

具体的に行なってきたことは何か。

今後の考え方はどうなっているのか。

烏山線100周年に関して、自治体と協議していることは何か。

アキュムをキハ40にラッピングして、鉄道ファンを集客する考えはないのか。

線区の特状を活かして、フリーきっぷというのは考えていないのか。

自治体とどのような話し合いが現時点で出来ているのか。

インバウンドも戻り始めた。まだ烏山線を知らない人をターゲットに成田、東京、大宮などの駅のデジタルサイネージを使ってPRするべきではないか。

アキュムの広告スペースを使った小学生の絵画コンテストはいつからやっているのか。

長期間、厚意で掲示させてもらっていたと聞いたが、なぜ今年から変わったのか。

100周年を祝い、集客に繋がると考えられるのであれば、今話したようなラッピング電車や沿線フリーきっぷという構想を議論の俎上にあげてほしい。

会社

これまで沿線高校生とコラボして駅からハイキングや地元自治体とサイクリングコースを作ってきた。

プレス発表されていないことについては明確な事は差し控える。過去も現在もやっていない訳ではないが、この場では伝えられない。

写真を撮るファンは電車を使わない。走らせて赤字とわかっているものには慎重となる。費用対効果が得られないものには投資は出来ない。

他の部門との連携に関わる事項に関しては考えていない。

2015年から2018年までチーム烏山として、街づくりを話し合う場があった。現在は無い。

自治体からの要望があれば実施するが、会社としてはやらない。

明確にはわからないが、広告が入らないので寂しいから使わせていたという感覚である。

スキームの違いではないか。

組合の考えは受け止める。

2. 利便性向上として、EV-E301 系 (ACCUM) に Suica 対応の運賃箱等の設置すること。

[回答] Suica 対応の機器は設置することが困難であるため、設置する考えはない。

組合

設置の考えはないというが我々が納得いくような理由は。

簡易Suica精算機の設置はどうか。

利用率で言うならば、常磐線の帰宅困難区域の夜ノ森駅は簡易Suica精算機がある。利用率で言うのであれば矛盾している。

ICカード相互利用が始まって10周年の今年、人口50万人都市宇都宮のお膝元の高根沢町・那須烏山市といったポテンシャルを感じる地で未だ使えないのは取り残されている感が否めない。

2項で話した内容も利用促進の議論の俎上にあげてほしい。

会社

メーカーから機能上搭載できないという答えをもらっている。

利用率が低く費用対効果が見込めないので現状では良いと判断している。

線区全体を見ている。

宇都宮も人口減少している。見込めないところには投資できない。例えば、極論だが高根沢、那須烏山の街がSuicaしか使わない街にするなら見込めない訳ではない。

組合の考えは受け止める。

その2へ続く